

# 「香南市まちづくりグランドデザイン基本計画」 概要版

## 香南市まちづくりグランドデザインとは

香南市まちづくりデザインは、誰もが「住んで良かった」、「住んでみたい」と思える、活力ある持続可能なまちづくりを目指し、検討を重ねてきました。この成果は4つの項目に分けてまとめているますが、全体が「香南市まちづくりグランドデザイン」となります。

1. 香南市まちづくり構想（平成25年度）
2. 香南市将来人口フレーム（平成26年度）
3. 香南市分野別基本計画（平成27年度）
4. 香南土地利用基本計画（平成27年度）

## 分野別基本計画とは

香南市の骨格を構成する重要な要素を4つの分野に分類し、将来のあるべきまちづくりの方向を検討しています。

1. 公園緑地景観環境形成基本計画
2. 水資源等活用保全基本計画
3. 交通網体系基本計画
4. 観光ルート拠点形成基本計画

## 香南市の将来人口とは

### ●総人口30,000人を目指します（2060年目標）

（現在のままでは、約23,200人まで減少することが予想されます）

### ●人口減に歯止めをかける施策を推進します

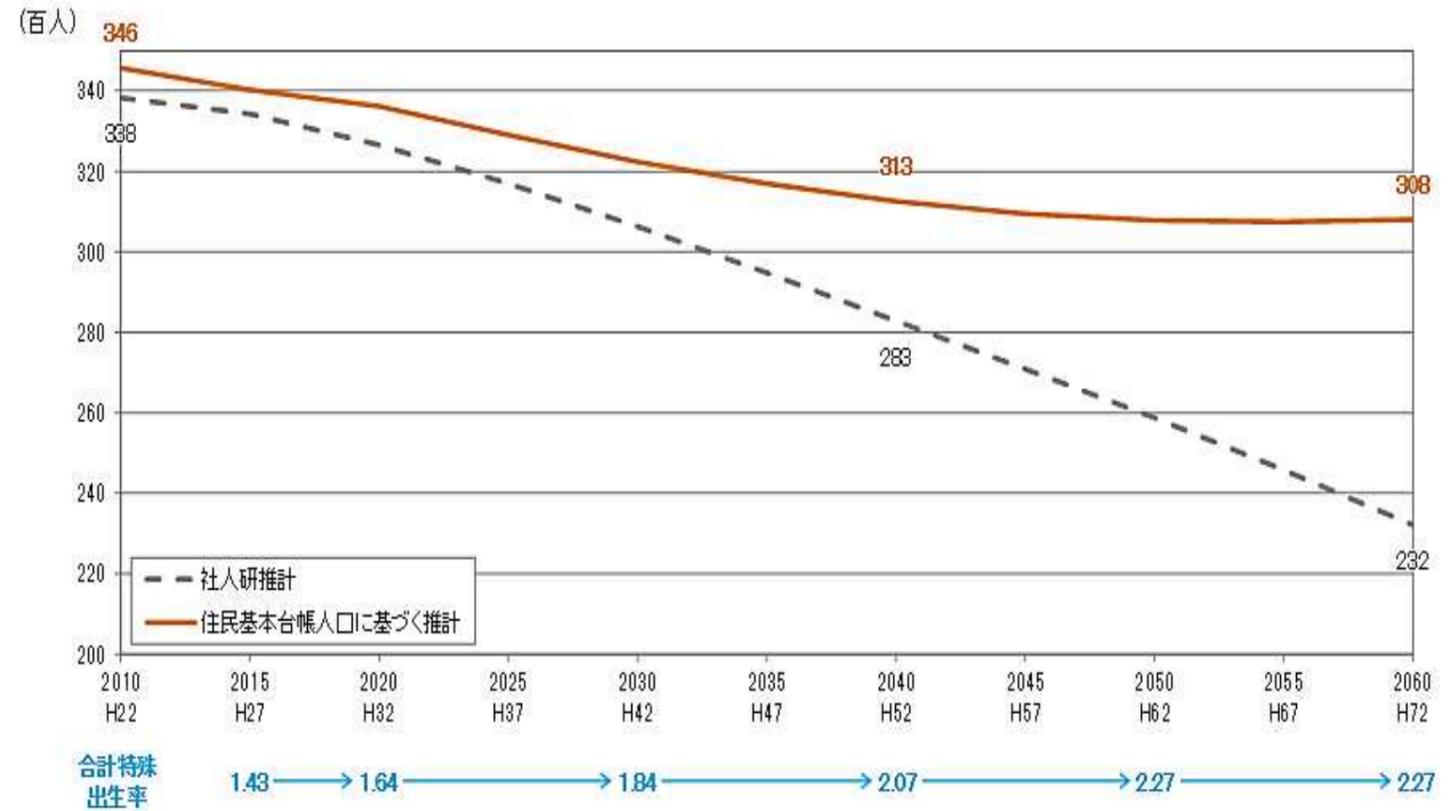
#### ●出生率を伸ばし、少子化に歯止めをかけます。

2015年\_出生率1.43人 2060年\_出生率2.27人  
（出生率とは、一人の女性が一生に生む子どもの数の平均値です）

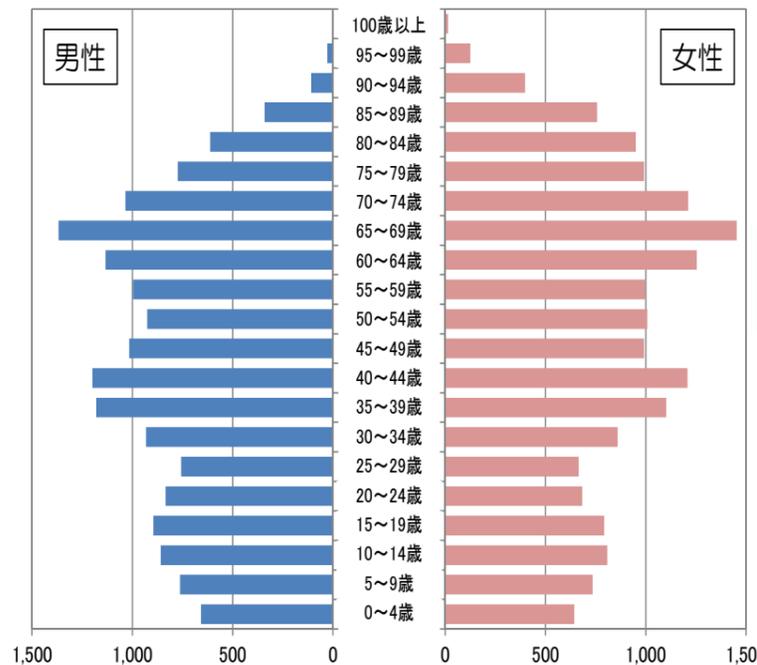
#### ●社会増を目指します。

移住促進、住宅開発、生涯活躍のまちなどの施策に取り組み、転入者の減少を抑え、2025年からは社会増約120人の状況が継続することを目指します。

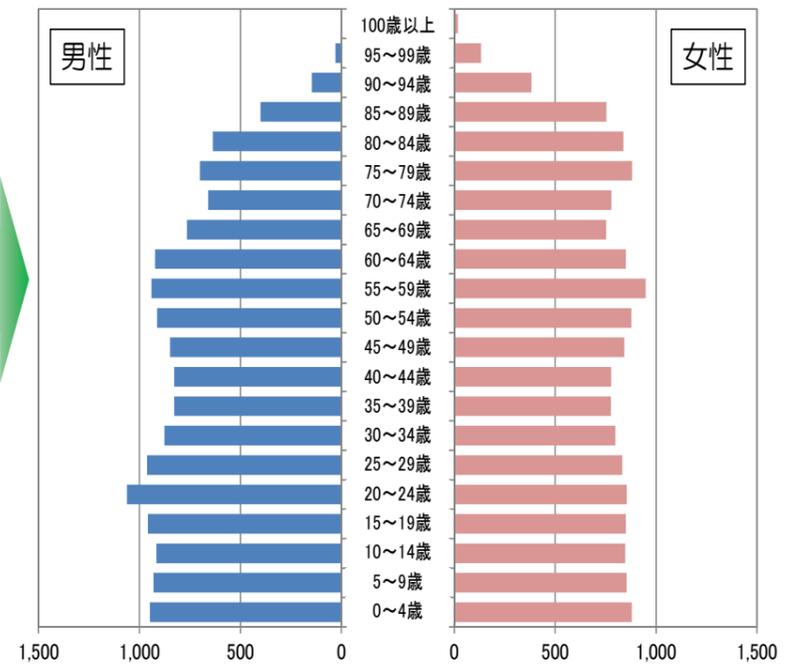
香南市の将来人口（2060）



5歳階級別人口(2014年)



5歳階級別人口(2060年)



# 1. 公園緑地景観形成基本計画

【公園緑地基本計画図】

## ●方針●

### 山・川・海に繋がる水と緑のネットワーク形成を目指します

香南市の魅力はなんといっても山・川・海に繋がる大自然の豊かさです。香南市が、今後とも持続可能で元気な地方都市としてあり続けるために、この恵まれた自然環境を積極的に保全し、活用するなかで、市民が元気に活躍する市域を創り上げられれば、それこそが、他の都市にはない、香南市独自のまちづくり目標になると考えています。



## ●基本計画●

- 1 自然環境・山林ゾーン**  
水と緑の循環機能の源である自然林を守ります。  
農地や市街地に近接した里山では、香南市の市民生活や産業活動の発展を支える空間として利用を図ります。
- 2 農業ゾーン**  
美しい水と緑の環境地や自然景観の保全について、市街地との役割分担を果たしつつ、保全と活用を担っていきます。
- 3 市街地ゾーン**  
良好な都市環境の形成を図り、健康で文化的な都市生活の確保に寄与する目的で、市街地に都市公園などの配置を考えます。  
①街区公園の規準 誘致距離250m、標準面積2,500㎡を標準  
②近隣公園の規準 誘致距離500m、標準面積20,000㎡を標準
- 4 水辺環境保全緑地**  
水と緑のネットワークを構築する基幹空間と位置づけます。  
河川や水路と水辺緑地は、香南市の水と緑の循環機能や景観環境保全機能の主役であり、山・川・海をつなぐ自然緑地軸として保全します。
- 5 景観**  
伝統ある街並みや建築の景観や美しい水と緑の景観を保全し、稜線や農地の風景や三宝山や、ヤ・シィパークの自然景観を守ります。
- 6 環境**  
安全で衛生的な水質保全や、ゴミ処理や不法投棄のない暮らし、安全で美しいまちでの生活など、優れた環境を創り維持します。

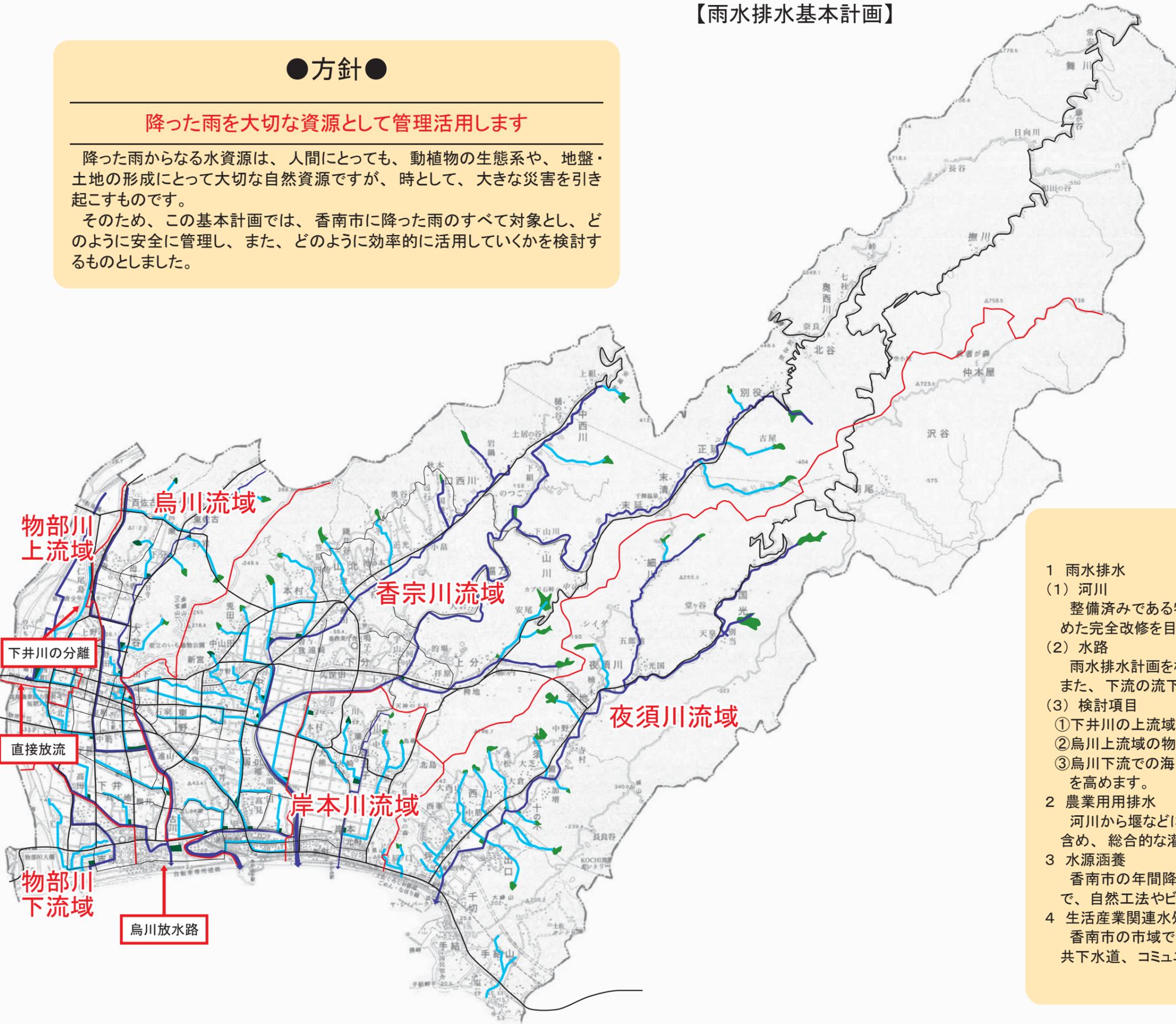
## 【雨水排水基本計画】

### ●方針●

#### 降った雨を大切な資源として管理活用します

降った雨からなる水資源は、人間にとっても、動植物の生態系や、地盤・土地の形成にとって大切な自然資源ですが、時として、大きな災害を引き起こすものです。

そのため、この基本計画では、香南市に降った雨のすべて対象とし、どのように安全に管理し、また、どのように効率的に活用していくかを検討するものとしました。



凡 例	
河川	青
排水路	水色
調整池	濃緑
水源涵養地	緑
流域界	赤線

### ●基本計画●

- 1 雨水排水
  - (1) 河川
 

整備済みである物部川、香宗川以外の烏川、岸本川、夜須川の支線も含めた完全改修を目指します。
  - (2) 水路
 

雨水排水計画を検討し、市域全体の雨水が排水できる水路整備を考えます。また、下流の流下能力を超えた洪水を防ぐため調整池の設置を推進します。
  - (3) 検討項目
    - ①下井川の上流域と下流域を分離し、下流への流下量を軽減します。
    - ②烏川上流域の物部川への放水路を整備し、下流への負担を軽減します。
    - ③烏川下流での海への直接放水路やポンプ排水等を設置し、河川の流下能力を高めます。
- 2 農業用排水
 

河川から堰などにより灌漑を受けている農地について、既存施設の統合を含め、総合的な灌漑用水路と排水路の整備を進める方向を考えます。
- 3 水源涵養
 

香南市の年間降雨量をもとに必要な浸透量を算定し、河川・水路の水源地で、自然工法やビオトープ的土地利用による雨水浸透施設の整備を考えます。
- 4 生活産業関連水処理
 

香南市の市域ではすべての汚水が処理されて放流されることを基本とし、公共下水道、コミュニティプラント、合併浄化槽の完全普及を考えます。

【幹線道路および補助幹線道路基本計画図】

## ●方針●

### 次世代の都市活動を支える、計画的交通網を考えます

香南の市民生活や産業活動を支える交通網は、都市の発展の根幹を支える大切な基盤施設です。

既存施設の特性を活かしながら、将来の都市の発展に必要な機能を考慮し、新しい時代に対応できる計画的な交通網を備えることを目指します。



凡 例	
東部自動車道	赤茶(太)
主要幹線道路	黒(太)
幹線道路	黒(細)
補助幹線道路	オレンジ

## ●基本計画●

### 1 道路網

- (1) 国道・県道  
国道 55 号並びに東部自動車道は、都市間交通処理を担ってもらいます。
- (2) 市内環状線  
市内発生交通を効率的に処理することができる、市内環状型の幹線道路の形成を図ります。
- (3) 市内格子状幹線  
通過交通を排除しつつ市内交通需要に対応する、格子状の幹線道路網の形成を図ります。
- (4) 中心市街地外郭環状線と域内格子状幹線道路  
中心市街地の交通増加に対応し、通過交通を迂回させつつスムーズに交通処理を行うため、中心市街地外郭環状線の形成を図ります。  
また、利便性の高い中心部道路網をつくるため、環状道路に接続する東西、南北方向の格子状の幹線道路の配置を目指します。
- (5) 補助幹線  
幹線道路への交通需要が大きい地区では、交通量の分散を図る補助幹線道路を配置すると共に、地域の特性ある発展を配慮した活性化交流軸となる補助幹線道路の整備を目指す。

### 2 公共交通体系

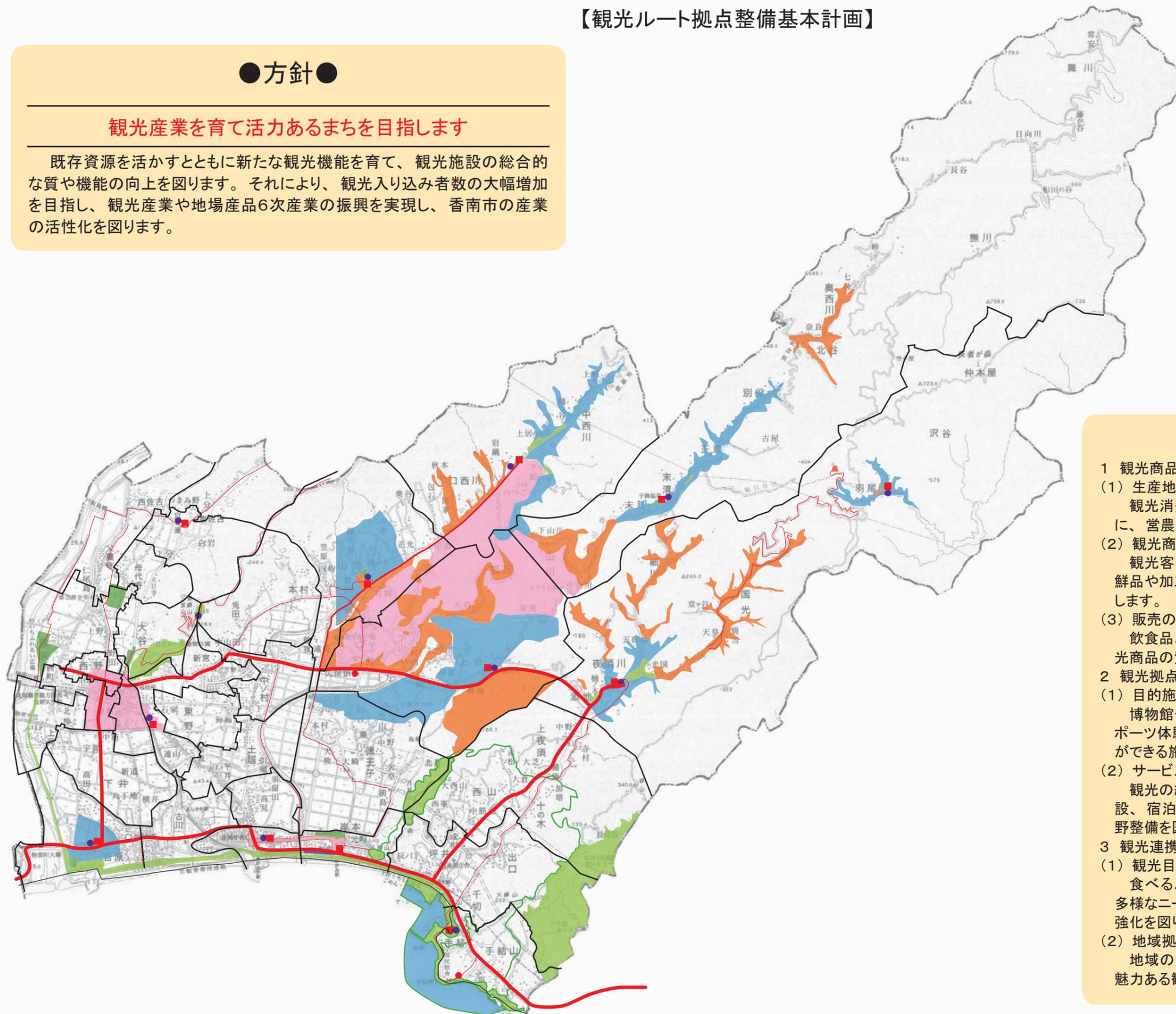
- (1) 市民や企業、観光客など、誰にも便利なバス運行を目指します。
- (2) 環状幹線道路網などに連動した市内循環など、より利便性の高い路線の研究を進めます。
- (3) 市内循環と連続する郊外路線の在り方などを検討します。
- (4) 乗り放題パスポートなどを研究し、使いやすく魅力あるバス運行を検討します。

## 【観光ルート拠点整備基本計画】

### ●方針●

#### 観光産業を育て活力あるまちを目指します

既存資源を活かすとともに新たな観光機能を育て、観光施設の総合的な質や機能の向上を図ります。それにより、観光入り込み者数の大幅増加を目指し、観光産業や地場産品6次産業の振興を実現し、香南市の産業の活性化を図ります。



凡 例		
観光連携軸	赤線	
原材料生産地	青	
土産等加工地	むらさき	
観光飲食地	赤	
新規観光拠点	観光玄関口	ピンク
	宿泊施設	赤
	スポーツ体験施設	緑
	周遊コース	黄緑
	憩いの広場	ピンク
農地	オレンジ	

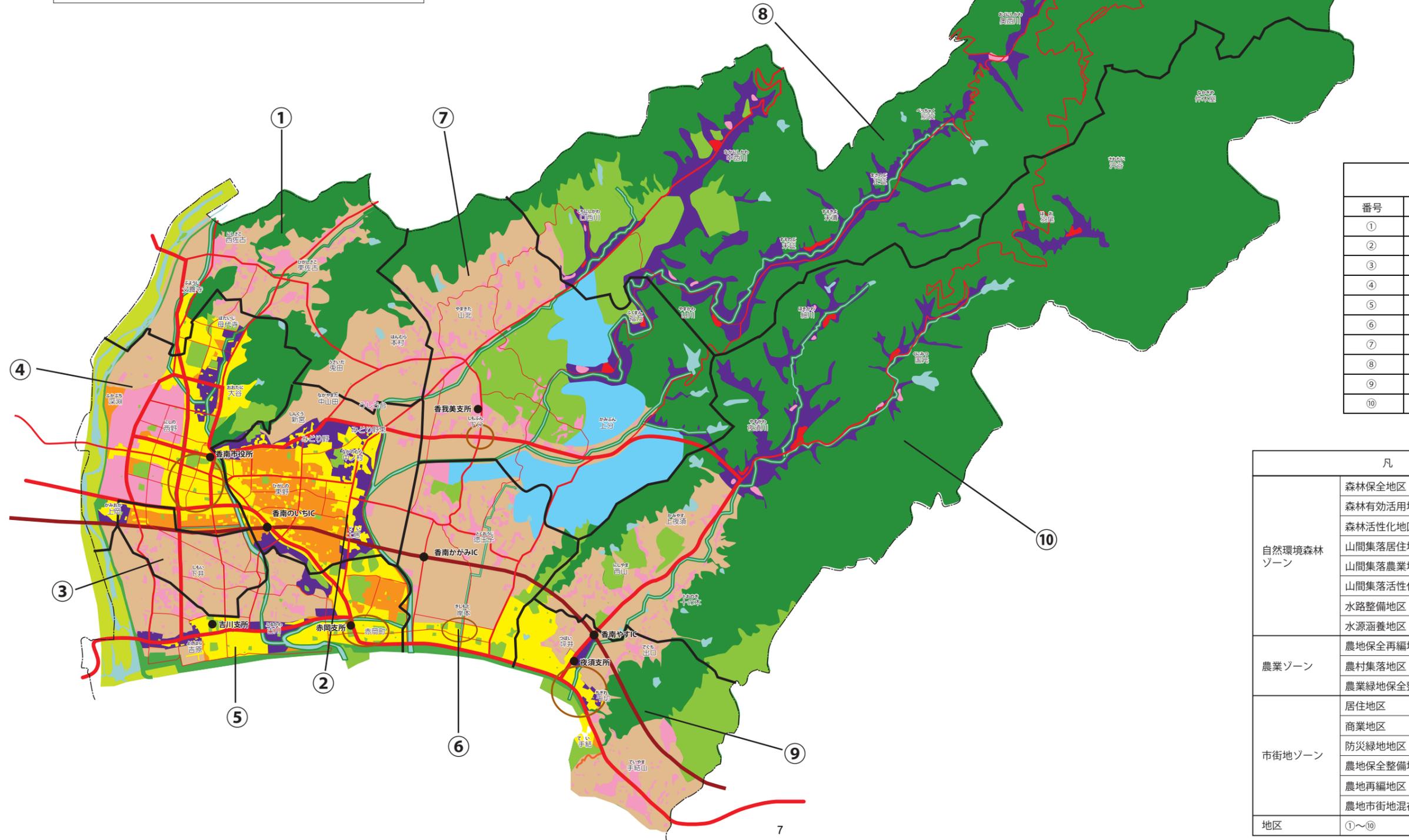
### ●基本計画●

- 1 観光商品充実
  - (1) 生産地の確保  
観光消費に対応した生鮮品の生産を行う農地や施設とともに、営農や流通管理を担う運営母体の形成を検討します。
  - (2) 観光商品の充実  
観光客の土産物販売や飲食などでの消費の対象となる生鮮品や加工品を、地域の6次産業推進で確保することを目指します。
  - (3) 販売の形成  
飲食品、工芸品、加工品など、市内産の材料を使った観光商品の質や量の拡大機能を育てます。
- 2 観光拠点充実
  - (1) 目的施設の充実  
博物館やレジャー施設を含め、農業体験、里山体験、スポーツ体験、海洋レジャーなどの、目的のある観光や体験ができる施設の拡大を図ります。
  - (2) サービス施設の充実  
観光の総合案内センター、駐車場休憩施設、飲食物販施設、宿泊施設など、観光客へのサービスを充実させる施設野整備を図ります。
- 3 観光連携充実
  - (1) 観光目的連携  
食べる、飲む、遊ぶ、休む、泊まるなどの、観光客の多様なニーズに答えるプラン設定など、サービス提供機能の強化を図ります。
  - (2) 地域拠点連携  
地域の特性を活かした観光拠点を育成し、香南市全体を魅力ある観光テーマパークに育てる方向を考える。

# 5. 土地利用基本計画

地区	自治会	基本方針	分野別基本計画	主な土地利用
①野市北部	西佐古、父養寺・仁尾島 上分 下分、つきみ野、宮の瀬、白岩団地 兎田、本村	水と緑の自然を守り、活力ある農業農村地区の形成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>水と緑の保全と活用</li> <li>用排水路の整備促進</li> <li>幹線道路の保全と整備促進</li> <li>地域観光拠点の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林保全地区（緑）</li> <li>農地保全再編地区（茶）</li> <li>農村集落地区（桃）</li> <li>水源涵養地区（水色）</li> </ul>
②野市東部	山下、西石屋、遠山・山地・馬袋南、新宮、みどり野、東石屋、野地・野地西・東の東・東の北、御無所・波江・馬袋北、野地東の中・東の西・東平井、土居 中ノ村、中山田	国道沿道の市街地の活性化を図るとともに、住宅地と農村集落と農地とが共存する活力ある地域を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園や公益施設の緑地整備と保全</li> <li>住宅地の排水施設の整備促進と農業用排水の整備促進</li> <li>環状型幹線道路整備促進と幹線道路充実</li> <li>沿道型観光商業施設の醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>居住地区（黄）</li> <li>農地保全整備地区（オレンジ）</li> <li>農地再編地区（紫）</li> <li>防災緑地地区（公園等）（黄緑）</li> <li>農地保全再編地区（茶）</li> </ul>
③野市南部	高田、宇賀、八丁地・下井団地・横井・新道	東部自動車道の整備推進とともに、優良な農地の保全を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業環境の保全</li> <li>環境や優れた安全な水路の整備促進</li> <li>東部自動車道関連の道路整備促進</li> <li>体験学習型の観光農地などの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地保全再編地区（茶）</li> <li>農村集落地区（桃）</li> <li>農地保全整備地区（オレンジ）</li> </ul>
④野市中心部	母代寺 大谷 東町・東中筋 切石、中組、西町北 野田、東上野・中・西・西上野、深淵・北・南、西町北 中町、大国町・武市橋・中中筋、西町東・中・西 西中筋、北地、上岡	魅力ある都市機能を備え、香南市の活力ある中心市街地の形成を図り、市域の活性化の牽引を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園や公益施設の緑地整備と保全</li> <li>市街地の排水施設の整備促進と農業用排水の整備促進</li> <li>都心部にふさわしい、都市間交通幹線、環状型幹線、格子状幹線などの整備の促進</li> <li>既存の商業業務機能の集積を活用した、魅力ある都市観地区の形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林保全地区（緑）</li> <li>防災緑地地区（公園等）（黄緑）</li> <li>居住地区（黄）</li> <li>商業地区（茶）</li> <li>農地再編地区（紫）</li> <li>農地市街地混在再編地区（桃）</li> <li>農地保全整備地区（オレンジ）</li> </ul>
⑤赤岡・吉川	江見、本町・弥生、弁天・横町、塩かぜ、幸、曙・松ヶ瀬 一本松・高見・横町4区、赤岡北部、別所山 錦、清水・八反、浜口、西北、西南、 中組、東組、古川、瀬戸	津波地震への防災対策を行い、優良な農地や集落を守るとともに、空港近接や交通利便性を活かした沿岸地域のまちづくりによる、元気なまちへと再活性化を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園や公益施設の緑地整備と保全</li> <li>市街地の排水や農地農業用排水の整備促進</li> <li>幹線道路、補助幹線道路の整備促進</li> <li>既存の商業業務機能の集積を活用した、魅力ある観光産業センターの形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地保全再編地区（茶）</li> <li>居住地区（黄）</li> <li>商業地区（茶）</li> <li>防災緑地地区（公園）（黄緑）</li> <li>防災緑地地区（緑）</li> </ul>
⑥岸本・徳王子	新町、本町、宇田、元町、月見山、磯の鼻 本村、ハピネス、中野、徳善、すだれ	津波地震への防災対策を行い、優良な農地や集落を守るとともに、幹線道路沿道条件や大規模用地立地の利点を活かし沿岸地域のまちづくりにより、元気なまちへと再活性化を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園や公益施設の緑地整備と保全</li> <li>市街地の排水や農地農業用排水の整備促進</li> <li>幹線道路、補助幹線道路の活用</li> <li>既存の施設と未利用地を活かし、交流、物販、体験、宿泊、滞在などによる観光商業の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地保全再編地区（茶）</li> <li>居住地区（黄色）</li> <li>商業地区（茶）</li> <li>防災緑地地区（公園）（黄緑）</li> <li>防災緑地地区（緑）</li> </ul>
⑦山北・山南	久保田、宇山・鳴子、コスモス、上分西、上分東、ルネサス、自衛隊 山北1～5、	津波に安全な高台用地を活用し、高台移転受け皿になるとともに、将来の香南市の活性化をリードする産業クラスターの立地促進を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>高台の魅力を活かし、自然環境との共生・調和のとれた、各種の活性化用地の確保</li> <li>市街地の排水や農地農業用排水の整備促進</li> <li>環状型幹線道路整備促進と幹線道路充実</li> <li>スポーツ・レジャー施設の提供や、地域観光拠点の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林保全地区（緑）</li> <li>森林有効活用地区（青）</li> <li>森林活性化地区（黄緑）</li> <li>農地保全再編地区（茶）</li> <li>農村集落地区（桃色）</li> </ul>
⑧西川・東川	口西川、中西川 東川、奈良、舞川	美しい自然を活かし、活力ある中山間集落地の保全を図るとともに、広域観光拠点の形成を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>美しい自然を守る水と緑の保全と活用</li> <li>用排水路の整備と水源涵養機能の醸成</li> <li>都市間交通幹線の整備促進</li> <li>地域の資源を活かした地域観光拠点の形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林保全地区（緑）</li> <li>森林活性化地区（黄緑）</li> <li>山間集落農業地区（紫）</li> <li>山間集落活性化地区（赤）</li> <li>水源涵養地区（水色）</li> </ul>
⑨夜須南部	手結山、手結 出口・千切・駅前、夜須4・5・6・7地区	風光明媚な恵まれた環境を活かした居住地の形成と、幹線道路沿道環境や、臨海リゾート機能を活用した、観光拠点のさらなる発展を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>山・川・海の水と緑のネットワークの海浜拠点の形成</li> <li>河川、水路、農業用排水路の整備促進</li> <li>環状型幹線道路の整備促進</li> <li>ヤ・シィパーク海浜観光と、山・川・海の連携を活かした地域観光拠点の形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林保全地区（緑）</li> <li>農村集落地区（桃）</li> <li>農地保全再編地区（茶）</li> <li>居住地区（黄色）</li> <li>防災緑地地区（緑）</li> </ul>
⑩夜須北部	夜須北部（添地・夜須川・国光・細川・羽尾） 夜須8地区（十の木・上夜須）、西山・西十の木・旭・大西山	美しい自然を活かし、活力ある中山間集落地の保全を図るとともに、特徴ある地域観光核の形成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>美しい自然を守る水と緑の保全と活用</li> <li>用排水路の整備と水源涵養機能の醸成</li> <li>都市間交通幹線の整備促進</li> <li>地域の資源を活かした地域観光拠点の形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林保全地区（緑）</li> <li>森林活性化地区（黄緑）</li> <li>山間集落農業地区（紫）</li> <li>山間集落活性化地区（赤）</li> <li>水源涵養地区（水色）</li> <li>農地保全再編地区（茶）</li> </ul>

【土地利用計画図】



凡例	
番号	地区
①	野市北部地区
②	野市東部地区
③	野市南部地区
④	野市中心部 (市街地地区)
⑤	赤岡・吉川地区
⑥	岸本・徳王子地区
⑦	山北・山南地区
⑧	西川・東川地区
⑨	夜須南部地区
⑩	夜須北部地区

凡例			
自然環境森林ゾーン	森林保全地区	緑	
	森林有効活用地区	青	
	森林活性化地区	黄緑	
	山間集落居住地区	桃	
	山間集落農業地区	紫	
	山間集落活性化地区	赤	
	水路整備地区	緑	
農業ゾーン	農地保全再編地区	茶	
	農村集落地区	桃	
	農業緑地保全整備地区	緑	
市街地ゾーン	居住地区	黄	
	商業地区	茶枠	
	防災緑地地区 (公園: 黄緑)	緑	
	農地保全整備地区	オレンジ	
	農地再編地区	紫	
	農地市街地混在再編地区	桃	
地区	①～⑩	黒線	